



「埼京線の乗務員基地再編について」提案を受けました!

大宮地本は、8月4日に「埼京線の乗務員基地再編について」の提案を受けました。

埼京線の乗務員職場の安全・安定輸送のさらなるレベルアップを図るとともに、効率的な業務執行体制の実現を目的として、大宮運輸区（仮称）を設置するとしています。



1. 内容

- ・大宮駅近傍に大宮運輸区（仮称）を設置する。
- ・大宮車掌区、大宮運転区を廃止する

2. 実施日時期

2023 年度下期を予定

3. スケジュール

	2022 年度	2023 年度	2024 年度
内容	▼社員周知 ▼工事着手	工事	★発足

【イメージ図】



～提案時の会社とのやりとりで分かった事～

- 運転士、車掌がコミュニケーションを取り、CS や訓練などを一緒に行なうことで安全・安定輸送の更なるレベルアップが図れると考えている。
- この場所にした根拠は今後の働き方の変化を踏まえ、業務の融合、連携など見据えた事もある。
- 2F が乗務員執務フロア（当直、乗務員待機箇所など）、5F・6F が更衣室や休養室、倉庫などを設置する考えである。なお2F の工事を今後行っていくが、駅の休養室など一時疎開などの対応も出てくる。
- 職場では運輸区化に向けたワーキンググループなども立ち上げていく考えである。
- 規模は具体的には決まっていないが約 250 名規模。乗務線区などは概ね変更はないと考えている。
- 徒歩時分については若干短くなると考えている。これからの調査となる。

**実際に使用する現場労働者の声を基に
安全に業務遂行できる職場環境をつくらう!**